長野県出資等外郭団体改革状況検証シート

(特別法人用)

【対象決算年度:平成26年度】

1 団体の概要

団 体 名		能力開発協 字南長野南!	協会 県町688-2)				代表者	会長	太田 哲郎
設立根拠	職業能力閉	昇発促進法		設立年			県所管部局 (課)	産業労働部(人材育成課)	
設立の沿革			設立目的(寄付行為・定款上)						
雇用及び	年の職業訓練法の改 産業の動向、就業構 として、公・民が一体	造の変化						上の促進の基 ⋛の促進を図る	本理念の具現に視る。
業能力開	発を推進する必要が	あるとされ	具体的な	事業内容					
応し、民間 能検定を 訓練法人)施策に呼 機業訓練・技 長野県職業 経検定協会と	 若年技 	免許講習(能者人材)	認定職業 (48時間講育 育成支援等 ア形成を支	習) • 職事業		サービスセン	ター事業ング等の実施事業	
を統合し、	昭和54年11月に記	艾亚。	事業執行状況を示す主な指標						
			H22 • 各種試	2: 2,711 験申請者(54 H24	,	125: 3,043	H26: 3,093
		技能士	2: 5,484 登録総数(2: 70,232			,	H25: 5,135 H25: 76,582	H26: 5,225 H26: 78,754	
		2 t 18 6 11			10 July 2		主な出捐者・	出捐額(円)・	出捐率(%)
基本財産(円)	0	うち県の出 捐額(円)	()	県出捐率(%)	0.0%		_	

*役職員数は各年度当初現在、平均年齢及び平均年収は平成26年度当初現在

		年	度		H23	H24		H25	H26																					
			常	勤	1		1	1		1																				
	役 眞	数		うち県職員	C		0	0		0																				
役	汉兵	女义	、奴	1 奴	1 女义	1 数	1 女义	夏 奴	非	常勤	45		45	46		43														
職				うち県職員	C		0	0		0																				
																							常	勤	5		5	6		5
員	職員	数数		うち県職員	C		0	1		0																				
数			非	常勤	8		8	8		11																				
		常勤	助職員計		6		6	7		6																				
	非常勤職員計		53		53	54		54																						
	県職員計(非常勤役員除く)		C		0	1		0																						
役員	平均年齢		役員平均年	丰収(千円)	職員平均	7年齢 50	歳3月	職員の平均年収(千	円)	5,955																				

*次表は26年度の状況で、()内は25年度

(単位:千円、%)

. ,,	X1820 及97/17/00	C () 1100 E 0	1 /2							<u> 무 1포</u>	. 1 70/
収	経常収益(A)			224,899		(213,155)		補助金	35,2	202	(35,510)
益等	経常費用(B)			226,663		(219,275)		事業費	14,0	002	(14,310)
状	経常損益(A)-(B)			△ 1,764		△ 6,120	県	運営費	21,2	200	(21,200)
況	当期損益			△ 1,764		△ 6,120	費	交付金		0	(0)
財	公益事業比率	65.1	(61.0)	正味財産比率	26.8	(33.8)	111	負担金		0	(0)
務	経常比率	99.2	(97.2)	流動比率	121.7	(152.1)	受	委託料		0	(0)
~ 恣	人件費比率	22.1	(22.4)	固定比率	171.0	(152.8)	入	貸付金		0	(0)
資 産	管理費比率	34.9	(39.0)	固定長期適合率	82.6	(75.7)	状	出捐金		0	(0)
関	事業支出伸び率	3.4	(37.6)	借入金依存率	0.0	(0.0)		損失補償年月	度	0	(0)
係 指	補助金等比率	15.7	(16.7)				況	末残高		U	(0)
標								人件費関係費 用(再掲)	21,2	200	(21,200)

民間(NPO含む)との競合状況

技能検定業務は一部職種を除き都道府県が行うものとされ、試験の実施に係る業務の一部を都道府県協会に行わせることが出来ることとされている。(一部職種については厚生労働大臣が指定する指定試験機関(民間)が実施している。) 職業能力開発業務の一部については、民間でも行なわれている。

2 団体の改革推進の状況

改革基本方針 自立的な運営

	改革基本方針	実 施 状 況				
実施年月		実施年月				
H16年6月	改革基本方針の策定 「県関与を縮減し、団体の自立的な運営へ」	H16年度~	・民間からマネージャーを登用し、民間的経営感覚の導入により職員の意識改革を進める。 ・県派遣職員2名を実務レベルの職員とする。			
		H16年6月	・県職員OBに替えて、民間から専務理事兼事務局 長を登用した。			
		H18年4月	・県派遣職員を2名から1名に減員した。			
H20年1月	改革基本方針の改訂 →「団体の自立的な運営を継続」	H20年度~	・県と協会との連携・協働を進める。			
H25年2月	改革基本方針の改訂 →「自立的な運営」	H23年3月	・プロパー職員の退職により、職員1名減とした。			

経営計画等の策定状況

情報公開の取組状況

情報公開要綱に基づき県条例に準じて実施(H14.4.1~)

監査等結果

内部定期監査を実施した結果、平成26年度に係る事業報告書、収支決算書、貸借対照表及び財産目録については、正確かつ適正であることが確認されている。

また、平成26年度中に、平成25年度に係る県監査委員による財政的援助団体等の監査が実施された結果、指摘事項はなかった。

団体の課題等

不透明な状況にある。

[団体記載欄]

技能検定業務・認定訓練助成事業を円滑に推進するため、県と

緊密な連携を図る。 平成21年度、国の事業仕分けを受け国・県の補助金が大幅に削

平成21年度、国の事業仕分けを受け国・県の補助金が大幅に削減されるなど、職員の高齢化も相まって、協会基盤が安定しない状況が続いている。新規事業として、平成25年度から厚生労働省の「若年技能者人材育成支援等事業」を、平成26年度には同省の「中長期的なキャリア形成を支援するためのキャリア・コンサルティング等の実施事業」等を企画提案方式により受託することができたが、これら事業の長期的展望がないことに加え、平成27年4月からは、技能検定機械保全職種が民間試験機関へ移行されるなど、先行き

[県記載欄]

技能検定業務の円滑な推進を図るとともに、職業能力開発に係る取組に関し、連携を進めていく。

【財務の状況】(公益・特別法人用)

① 正味財産増減計算書

団体名:長野県職業能力開発協会

(単位:千円)

					平成24年度	平成25年度	平成26年度
	経	常増》	咸の	部			
		経常	牧?	益 (A)	158,053	213,155	224,899
			うち	基本財産運用益	14	18	14
			うち	受取会費	3,710	3,681	3,709
			うち	事業収益	104,163	163,706	179,010
			うち	受取補助金等	50,166	35,510	35,202
				うち受取国庫補助金	24,735	17,380	17,380
_				うち受取県補助金	25,431	18,130	17,822
般				うち受取市町村補助金	0	0	0
正		経常	費	用 (B)	159,355	219,275	226,663
味			うち	事業費	99,803	133,753	147,628
財				うち公益事業費	99,803	133,753	147,628
産増減				うち給料手当	0	0	
増			うち	管理費	59,552	85,522	79,035
				うち役員報酬	3,442	3,649	3,644
の部				うち給料手当	46,714	45,392	46,425
Πþ	経常増減(損益)額(C)=(A)-(B)				△ 1,302	△ 6,120	△ 1,764
	経常外増減の部						
	経常外収益(D)				0	0	0
		経常	外費	費用 (E)	0	0	0
		経常	外埠	!減額(F)=(D)−(E)	0	0	0
	— f	投正。	未財	産増減(当期損益)額(G)=(C)+(F)	△ 1,302	△ 6,120	△ 1,764
	—f	投正。	未財	産期首残高 (H)	44,713	43,411	37,291
				産期末残高 (I)=(G)+(H)	43,411	37,291	35,527
指	受取補助金等				0	0	0
増定				国庫補助金	0	0	0
減正				地方公共団体補助金	0	0	0
部財	当	胡指足	主正	味財産増減額(J)	0	0	0
				産期首残高 (K)	0	0	0
産	11元至 尔州 [[] [] [] [] []				0	0	0
	当期正味財産増減額 (M)=(G)+(J)				△ 1,302	△ 6,120	△ 1,764
	正味財産期首残高(N)				44,713	43,411	37,291
正味見	け産	期末	残高	高 (O)=(M)+(N)	43,411	37,291	35,527

② 貸借対照表

		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	流動資産	19,389	53,423	71,696
	うち現金預金	14,801	45,814	59,383
	固定資産	66,200	56,989	60,764
資	基本財産	0	0	0
	うち土地	0	0	0
	うち投資有価証券	0	0	0
	特定財産	65,687	56,698	60,661
産	うち退職給与引当資産	37,993	38,004	38,014
	うち減価償却引当資産	4,130	4,353	4,542
	その他の固定資産	513	291	103
	資産合計	85,589	110,412	132,460
	流動負債	4,184	35,117	58,918
	うち短期借入金	0	0	0
負	うち未払金	1,992	29,654	51,165
	固定負債	37,993	38,003	38,014
債	うち長期借入金	0	0	0
^	うち退職給与引当金	37,993	38,003	38,014
	負債合計	42,177	73,120	96,932
	指定正味財産	0	0	0
_	うち基本財産への充当額	0	0	0
正	うち特定資産への充当額	0	0	0
味 財	一般正味財産	43,412	37,292	35,528
産	うち基本財産への充当額	0	0	0
<i>,</i>	うち特定資産への充当額	27,694	18,695	22,647
	正味財産合計	43,412	37,292	35,528
負債	及び正味財産合計	85,589	110,412	132,460